

日 時 : 2025 年 9 月 11 日 (木) 13:30~14:37

場 所 : 関西大学千里山キャンパス A304 教室 および Zoom を併用したオンライン会議形式

出席者 :

【理事】青嶋誠(理事長:議長)、

足立浩平(*)、狩野裕(*)、坂本亘、田畑耕治(*)、富田誠、中山厚穂、松井茂之(*)、南美穂子、
山下智志、山本義郎

【連合大会実行委員会】松本渉(委員長)

【連合大会運営委員会】富田誠(委員長)、中村智洋

【連合大会プログラム委員会】内藤貫太(委員長)、金森敬文

【2024 年度理事長】宿久洋(*)

陪席者 :

【JJSD 編集委員長】増田弘毅

【2025 年度幹事】石岡文生、久保田貴文、小池祐太(*)、西山貴弘(*)

((*) : オンラインでの出席)

会議に先立ち、前回の組織委員会の議事録が確認された。

審議事項

1. 2026 年度連合大会各委員長の承認について

青嶋委員長より、2026 年度の各委員長について以下の提案がなされた。審議の結果、これを承認した。

- ・ プログラム委員会 : 委員長 : 金森敬文 (東京科学大学)
副委員長 : 清水昌平 (大阪大学)
- ・ 運営委員会 : 委員長 : 中村智洋 (京都女子大学)
副委員長 : 山田隆行 (京都女子大学)

2. 2026 年度連合大会の準備状況について

富田 2026 年度実行委員長より、2026 年度連合大会について以下の提案があり、審議の結果、承認された。

- ・ 横浜市立大学金沢八景キャンパスにて、9 月 6 日 (日) にチュートリアル・市民講演会、9 月 7 日 (月) ~ 9 月 10 日 (木) に本大会を開催する。

3. 2027 年度連合大会の開催校について

青嶋委員長より、2027 年度連合大会について以下の提案があり、審議の結果、承認された。

- ・ 開催校：京都府京都市 京都女子大学
- ・ 実行委員長：栗原考次（京都女子大学）
- ・ 開催日時
2027年9月5日（日）：市民講演会、チュートリアルセッション（京都市内会場）
2027年9月6日（月）～9月9日（木）：本大会（京都女子大学）

4. その他

特になし。

報告事項

1. 2025年度連合大会について

- (1) 松本実行委員長より、以下の報告があった。
 - ・ 昨年と違い天候に恵まれ、全体としては大きな問題なく開催できた。
 - ・ 1点、学外者向けの Wifi の設計が弱く、想定以上に接続が安定しない状況が続いた。途中から発表者向けには運営側で用意しているPCで発表してもらうなどして接続が安定するように対応した。
- (2) 内藤プログラム委員長より、以下の報告があった。
 - ・ 9月7日にチュートリアルセッションと市民講演会がハイブリッド形式で開催され、チュートリアルセッションの参加者数は207名（現地100名、オンライン107名）、市民講演会の参加者数は120名（現地50名、オンライン70名）だった。
 - ・ 9月8日にプレナリーセッションが開催され、213名（現地120名、オンライン93名）の参加があった。
 - ・ 総セッション数は78セッションで、講演件数は一般セッションで186件、コンペティションセッションで37件、企画セッションで141件、プレナリーセッションで1件で、合計365件の報告があった。
 - ・ 企画セッションのオーガナイザーとセッション講演予定者の中で連絡の不備があり実際には講演申込がされなかったケースが10件あったため、セッションオーガナイザーから講演者への連絡の周知徹底をしていく必要がある。
- (3) 富田運営委員長より、以下の報告があった。
 - ・ 参加登録件数の速報値は1138であり、年々増加している。
 - ・ QRコードによる受付やY Web System への一部業務委託により、運営委員が大会当日に受付にあまり張り付かずに済む状況となった。
 - ・ ソフトウェアデモセッションの出席者が少なかったため、参加者を増やすための工夫が必要である。
 - ・ 保育室補助を1件行った。
 - ・ 実行委員長の尽力もあり、会場費が非常に低く抑えられた。
 - ・ 企画セッションの招待講演者の参加費の支払いルールに関して見直しが必要ではないかという意見があった。

2. 連合大会と連合本体の会計について

石岡幹事より、2025 年度より連合が法人化されたことに伴い、また、先日の社員総会にて連合本体・連合大会の会計処理に関する指摘があったことを受け、今後の連合大会・連合本体の会計処理について以下の変更がある旨が報告された。

- ・ 今後、連合本体の決算書類には、連合大会の会計情報も含める。ただし、口座はこれまで通り分けたままで運用する。
- ・ 連合本体の決算書には「連合大会収入」「連合大会支出」をそれぞれ 1 行ずつ追加し、貸借対照表には、連合大会の口座残高を資産に含める。
- ・ 連合大会の会計で扱っていた「運営準備金」の記載はなくす。連合大会から連合本体に入金していた運営費等の入金も、今後は会計上の項目としては記載しない。
- ・ 謝金については源泉徴収が必要となるため、運営委員の会計担当の先生に対応していただいている。

3. その他

次回の大会組織委員会は、定例通り 12 月にオンライン形式で開催予定であり、後日に日程調整を行う旨が報告された。